

コンゴ共和国における適切な緩和行動

森林の減少及び劣化に起因する温室効果ガス排出削減（REDD）プロセスの実施過程における方法的・戦略的アプローチの策定を期しつつ、また気候変動に関する国内の2つの意見交換（1996年度および2000年度のもの）における結論に基づき、以下の行動が特定されている。これらの行動は緊密に関連していると思われる「削減」および「適応」を目的としている。

N°	行動
1	炭の使用および改良炉の普及
2	気候変動の可能性を踏まえたより適切な農業投資の選択と普及
3	人口密集地域における自治体管理によるごみ置き場の建設
4	人口密集地域における自動車ガスの排出管理
5	国立環境監視所の創設
6	REDD（森林の減少及び劣化に起因する温室効果ガス排出削減）関連の行動の展開
7	減少した森林における林業開発および密集した森林における林業活動推進
8	ポワント・ノワール港および航行可能な水路の頻繁な浚渫
9	人口密集地域ごみ置き場管理計画の策定
10	土地の配置に関する国家計画策定
11	大気・水質・土壌管理ステーションの設置
12	衛星画像受信ステーションの設置
13	海岸侵食対策
14	蔓延する水草への対策
15	エネルギー効率の管理
16	水力発電開発
17	気候変動により適応した耕作の推進
18	権利のある林地でのコジェネレーションによるエネルギー生産
19	灌漑の推進
20	窒素固定種の使用による改善技術の推進
21	生産林の持続可能な活用および認証の推進
22	林業および市町村有・私有のプランテーション活用の推進
23	非木質森林製品の推奨および活用
24	地理情報研究所（GIS および遠隔検出）の設備強化
25	ジュエ（Djoué）およびムククル（Moukoulou）の水力発電ダム修復
26	石油生産における上質ガスの有効活用
27	侵食地の補強
30	森林生態系の持続可能な創出・管理業務における若者の雇用推進
31	水力エネルギーおよび飲料水の運搬および分配のためのインフラ修復
32	地球温暖化により適応した改良技術および耕作についての農民人口許容キャパシティの増強
33	森林保全の実施における国民と産業人の養成および啓発